



～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【第2 青函トンネル構想が動き出す・・・】

7月 は暑い日が続き、浜の主力である養殖昆布の生産が佳境を迎え、連日、朝早くから浜はにぎわいを見せております。

6月20日(土)、福島保育所の運動会を終え、その足で午後から札幌へ向かい、北海道町村会の用務で「林芳正総務大臣との懇談会」に出席をさせていただき、地域の課題などに関して、意見交換をしてまいりました。

また、翌日21日(日)には、自由民主党道連定期大会へ参加をしてまいりました。

6月25日(木)、渡島総合開発期成会の札幌要望が実施され、溝部議長と共に参加をしてまいりました。当日は、道庁において三橋副知事に対し、道路整備の促進などの全体的な要望を行うとともに、第2青函トンネル構想に関して、国会議員連盟の状況を報告するとともに、吉岡漁港の屋根付岸壁整備のお礼を述べてまいりました。その後、3班に分かれ、私は3班の班長として、北海道建設部の関連建設部長など幹部の方々に、道路関係予算の要望を行ってまいりました。

また、交通政策局および危機対策局に対しても、それぞれ要望を行ってまいりました。

6月27日(土)、ホテルポールスター札幌において、「札幌福島会」の総会が行われ、小林会長をはじめ多くの方々とお会いすることができ、総会のあいさつの中で福島町の近況を報告させていただきました。

また、懇親会の中では、歌謡ショーやウニの塩水パックなどの特産品が当たる抽選会が行われ、当選番号の発表に参加者は一喜一憂しておりました。今年も参加者からふるさと福島町への熱い思いをいただいております。

7月1日(水)、東京の衆議院第一議員会館において、第二青函トンネル建設プロジェクト推進議員連盟の主催による勉強会が開催され、青森県今別町の阿部町長と共に出席をしてまいりました。当日は、上野賢一郎厚生労働大臣、青森県から津島淳内閣府副大臣ほか、道内から中村裕之衆議院議員、和田義明衆議院議員などが出席され、向山じゅん衆議院議員の進行により、国土交通省から「青函トンネルの老朽化の現状」、防衛省から「安全保障の観点から」などのヒアリングが行われ、各議員から老朽化に伴う耐用年数の考え方など闊達な意見交換が行われ、第二青函トンネル実現への決議がなされました。

また、富原亮道議会議員からは道議会として「第二青函トンネル検討PT」の設置が報告されました。

7月7日(火)、札幌市において北海道マリンビジョン促進期成会の役員会および総会が行われ参加をしてまいりました。

また、9日(木)には、防災・危機管理トップセミナーに参加し、改めて、災害時における町のトップとしての判断や行動などを再確認することができました。

また、同日、午後には北海道市町村長交流セミナーおよび交流の夕べが開催され、全道市町村長と共に鈴木知事および道庁幹部職員と交流を深めてまいりました。

7月12日(日)、総合体育館において第28回千代の富士杯争奪相撲大会が開催され、道内各地はもとより青森県からもたくさんの子どもたちの参加をいただき開催されました。幼児・小学1年生から中学生までの子どもたちが熱戦を繰り広げてくれました。横綱千代の富士関が残してくれた大会をこれからも守ってまいります。